



▲運行最終日に勝浦小学校の児童を乗せて馬車を引くオーロくん

ふくつ古墳馬車の運行が終了 さよならオーロくん

県内で唯一公道を走る馬車として運行してきたふくつ古墳馬車は、新型コロナウイルス感染症の影響などで、5月末で運行を終了しました。

最後の運行日となった5月30日、勝浦小学校の児童が、10年間馬車を引き続けてきた「オーロくん」とのお別れに駆け付け、首飾りや寄せ書きを贈っていました。

ふくつ古墳馬車を運営してきたホースプランの増田美佐子さんは、オーロくんの名前の由来や思い出などとともに「立派なお馬さんがいたことを忘れないで」と語っていました。

東京2020オリンピック聖火リレー

50年に1度の大舞台

新原・奴山古墳群で実施される予定だった東京2020オリンピック聖火リレーは、5月7日に福岡県が緊急事態措置の区域に追加されたことを受け、開催方法が変更になりました。5月12日、北九州市の関門海峡ミュージアムイベント広場で無観客の点火セレモニーが開催され、聖火ランナーがステージに上がり、オリンピックトーチに灯した聖火を、聖火皿までつないでいきました。風が強く、雨が降る中での聖火リレーとなりましたが、聖火をつないでいくランナーの皆さんは終始笑顔で、この瞬間を楽しんでいるようでした。



▲福津市内を走行予定だった聖火ランナーの皆さん

市外出支援団体サポート事業新規車両出発式 外出支援のための新車両導入

買い物など、高齢者の外出支援をするための車両導入を記念して、5月28日に出発式を行いました。出発式に参加した光陽台2区福祉会長の玉来秀久さんは「以前は、外出支援で買い物に行ったり、コーヒーを飲みに行ったり、ちょっとした遠足気分を味わっていた。コロナ禍で買い物を1つの店だけにするなど、さまざまな制限はあるが、買い物は日常生活に欠かせない。地域の皆さんが、末永く、今住んでいるところで生活できるように外出支援に取り組んでいきたい」と今後の抱負を語っていました。



▲新車両の前でテープカットを行う玉来さん(中央)

「コロナをなくして元気に」子どもたちの疫病退散の願いを込めた山笠の展示

未来へつなげ！津屋崎祇園山笠

津屋崎小学校では、3年生の総合的な学習の時間に「未来へつなげ！津屋崎祇園山笠」という学習をしています。例年11月、津屋崎祇園山笠振興会の皆さんの協力を得て、学校の文化祭である東雲祭で子ども山笠を昇き、披露しています。しかし昨年度は、東雲祭そのものが中止となってしまいました。

子どもたちの「昇げないかわりに、せめて飾れたら」という願いの実現に向けて動いたのが、津屋崎小おやじの会をはじめとした地域の皆さん。昨年度末には、イオンモール福津、今年度に入って、津屋崎千軒なごみや宮司コミュニティセンター、カメラアホールに子ども山笠を展示する機会をつくりました。

子どもたちは「子ども山笠が広まったり、それを見た地域のかたが楽しんでくれたりしているのを見て、感動しました」と話していました。「コロナをなくして、地域のかたを元気にしたい」という思いで作った子ども山笠。子どもたちの疫病退散の願いが実り、一日も早い新型コロナウイルスの収束と日常生活が戻りますようにと願い、今年も学習が始まっています。



▲宮司コミュニティセンターに展示されていた子ども山笠(左から一組飾り、二組飾り、三組飾り、四組飾り)



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りです。データの持ち込みは受け付けられません。毎号先着24人で、9月生まれの赤ちゃんは7月13日(火)が受付期限です。

受付、問い合わせ

市子育て支援センターなかよし(ふくとびあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム
7月1日(木) から受付開始

